



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



教養教育の観点からする「学び」の育成支援
—包括型初年次教育の国際標準モデル構築—

1

「学び」の育成支援@東京大学

- 目的＝「本質を捉える知」、「先頭に立つ
勇気」、「他者を感じる力」を養わせる
- 本学の取組＝
 - 包括型初年次教育のモデル
 - コミュニティ形成を促す仕組み
を導入する。
- 世界のトップ大学にふさわしい理念と実践

2

初年次教育の目的

- 「移行問題」の解決を支援する。
＝新入生が大学という新しい学習・生活環境に積極的に適応し、知的・人間的な能力を十分に開花させるように促す。
- First-Year Experience[®],
First-Year Programの名称で、世界中に普及。

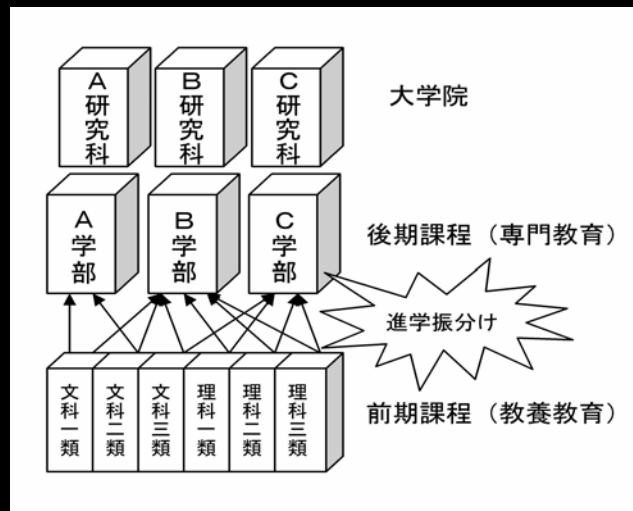
3

レイトスペシャリゼーション

- 入学前に専門を決めさせるのではなく、入学後に自分の適正や志望を見極めてから専門を決めるプロセスを重視する。
- 学生達が将来の志望を異にする多様な仲間達と出会い、友情を深め、自分の将来設計を構築する、(それぞれの人生にとって)最も重要な時期を教養学部で過ごす。

4

進学振分け: 教養学部での学習(1・2年次)を踏まえて、3・4年次の進学先を決める仕組み



5

初年次プログラムの必要性

- 初年次教育プログラムの強化は東京大学の学部教育にとって本質的なものであり、「包括型初年次教育」のモデルを構築し実践することは必須の課題となっている。

6

東京大学の多様な取組

○優れた教育効果をあげるための取組

[学生の学習ニーズにあわせた柔軟なカリキュラム編成]

[学習アドバイス制度]

[全学自由研究ゼミナール(選択必修)]

[基礎演習(必修)]

[学習相談]

[進学情報センター]

[1年生のための導入プログラム]

[新図書館の整備]

○学生の社会性を涵養する取組

[1年半持続するクラス編成]

[キャンパスプラザの設置]

[コミュニケーション・プラザの整備]

○現代的課題に応える取組

[全学体験ゼミナール(選択必修)]

[学術俯瞰講義]

[学習支援DVDの作成]

[4月以前における入学予定者への働きかけ]

[国際的なネットワークの強化]

Harvard College in Asia Project (HCAP) University of Tokyo Exchange Program (March 2007)






2007年度入学予定者の皆さんへ



FRESH START@駒場

3月28日(水)
午後1時から5時まで

東京大学駒場キャンパス
教養学部18号館ホール

合格おめでとうございます。これから始まる大学生活に皆さんは
何をほそませていることでしょう。東京大学では、大学生活につ
いて深く知りたい、よく知りたいという皆さんの要望に応えて、
以下のように、新入生支援プログラム「FRESH START@駒場」
を開催します。

概要

集 合： 教養学部18号館ホール（開場は12時40分）

内 容： (1) 教養学部長と入学予定者の集い
(2) 特別講演「学びのすすめ」
 遠山敦子 元文部科学大臣
(3) 在校生、教職員との小人数のグループ活動

主 催： 東京大学教養学部附属教養教育開発機構



講演者

遠山 敦子 元文部科学大臣
1947年12月1日 東京都生まれ
1969年 東京大学文学部卒業
1971年 東京大学大学院文学研究科
1973年 東京大学大学院文学研究科
1975年 東京大学大学院文学研究科
1977年 東京大学大学院文学研究科
1979年 東京大学大学院文学研究科
1981年 東京大学大学院文学研究科
1983年 東京大学大学院文学研究科
1985年 東京大学大学院文学研究科
1987年 東京大学大学院文学研究科
1989年 東京大学大学院文学研究科
1991年 東京大学大学院文学研究科
1993年 東京大学大学院文学研究科
1995年 東京大学大学院文学研究科
1997年 東京大学大学院文学研究科
1999年 東京大学大学院文学研究科
2001年 東京大学大学院文学研究科
2003年 東京大学大学院文学研究科
2005年 東京大学大学院文学研究科
2007年 東京大学大学院文学研究科



駒場キャンパス

<http://www.komed.e.u-tokyo.ac.jp/>



「駒場活性化プロジェクト」冊子



「クラブ・ポニ」二〇〇六冊子

10

学生のニーズに基づいた モデル構築

ハイエンド層

より高度で幅広い学習内容を提供

ミドル層

学習計画の設計、進路選択の指導

ローエンド層

学習相談、基礎学力の指導

学習者の視点に立って、より効果的なモデルを構築する。

11

「初年次活動センター」準備会 2007年7月6日



初年次活動センター の3つの活動

- ①「FRESHSTART@駒場」などセンター独自の事業を行う
- ②学習コミュニティ形成のための活動を行っている学生の自主的活動（サークル活動など）を支援する
- ③大学が展開している様々な初年次事業に関する職員、学生の意見を汲み上げ、改善に資する

13

東京大学の取組の共有

海外先進教育実践支援プログラム
国際シンポジウム

東京大学
The University of Tokyo

国際標準の学部初年次教育実現へ向けて

— 教員・職員・学生の新しい連携の形 —

2007年3月26日(月)午後1時から5時

1. 開催地場
古田元次郎氏(調学員)
— 第一幕 —
2. 基調講演
国際標準の初年次教育を日本にどのように導入するか？
Tom Diggart(ハーバード大学初年次教育部長)
— 第二幕 —
3. 現場における初年次教育 山本隆雄氏
— 第三幕 —
4. 招待参加者による招待演説の紹介
ハーバード大学とペンシルベニア州立大学の初年次教育
(1) キャンパス内外での移行支援プログラム
(2) 学びのためのアドバイジング：学習進捗と学習態度
(3) 学生支援団体の関与システム
(4) 新しい組織の形：オンラインシステムの可能性
(5) 教育の国際化の取組
5. 質疑と討論

主催：東京大学大学院総合文化研究科・教育学部
会場：駒場キャンパス(教養学部)13号館ホール
(渋谷より京王井の頭線「駒場東大前」駅下車)
開場：日本館および英語(同時通訳あり)
協賛：大日本印刷(株)
問い合わせ先：教養学部附属教養教育開発センター
03-5454-4840
<http://www.e.u-tokyo.ac.jp/infos-1.html>

130™
The University of Tokyo

東京大学創立130周年記念事業

14

大学教育の国際化推進プログラム (海外先進教育実践支援)

平成18年度

○教員と職員が、国内外の講師を招いてレクチャーを受け、議論を交わす国内研修

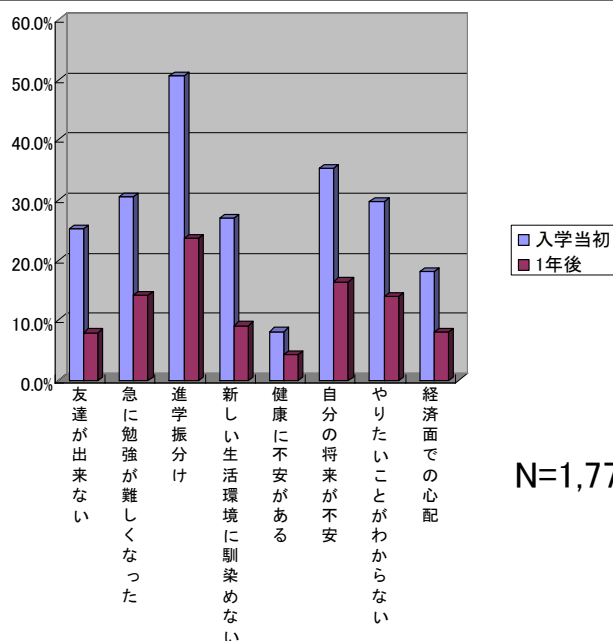
○教務課、学生支援課の職員8名を中心とする研修団をハーバード大学、ペンシルヴァニア州立大学に派遣



平成19年度の採択も決定

15

初年次教育ニーズ調査
2007年1月実施



N=1,779



Thank you